

広報紙

秀友便り



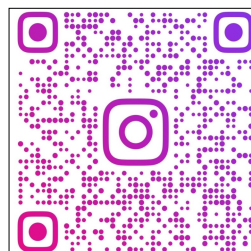
発行：医療法人秀友会 札幌秀友会病院 札幌市手稲区新発寒5条6丁目2-1 電話：011-685-3333
ホームページ：<https://www.shuyukai.or.jp/>

ホームページのデザインが変わりました



9月29日（金）より、当院のホームページが新しくなりました。新しいデザインは、より見やすく、地域医療を担う機関としての様々な情報が閲覧できるようになっております。働いている職員の声なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。当院は、皆様の健康と安心をサポートするために、日々努力してまいります。ホームページのデザイン変更は、皆様にご満足頂けるサービスを提供するための取り組みの一つです。今後も、常に患者さんの立場に立って、より良い医療を提供することを目指してまいります。

また、秀友会の魅力を発信していくために「インスタグラム」と「フェイスブック」を始めました。登録はホームページまたはQRコードからできますので、ぜひともよろしくお願ひします。



インスタグラム



フェイスブック

秀友会アカデミア

トップランナーによる、地域の学びの場。
札幌秀友会病院がはじめます。

秀友会 アカデミア

2023年11月から開校。1年に6コマ開催。

第1回

11月4日(土) 14:00-16:00
申込締切 10月30日(月)

既成概念にとらわれない
新たなチャレンジ!

ゲスト



CREATIVE OFFICE CUE 会長 鈴木 貴之 氏

1962年北海道赤平市出身。大学入学後に様々な劇団を立ち上げ、作、演出、出演を手がける。1992年にCREATIVE OFFICE CUEを設立し、TEAM NACSらのアーティストをマネジメントする。企画、構成、出演をした「水曜どうでしょう」が全国的にヒット。現在は、会長に就任し、様々な創作活動をしている。

第2回

12月2日(土) 14:00-16:00
申込締切 11月27日(月)

ポジティブに生きる

ゲスト



北海道日本ハムファイターズコーチ 森本 稀哲 氏

1981年東京都荒川区出身。帝京高校卒業後、1999年に日本ハムファイターズに入団し、2010年までプレー。リーグ優勝やゴールデンングラブ賞の獲得も経験。横浜DeNAベイスターズ、西武ライオンズへ移籍し、引退。引退後は、講演やテレビでのコメンテーターなどをし、2023年より北海道日本ハムファイターズのコーチに就任。

その他のゲスト



2月
フィジカルコーチ
渡部文緒



4月
元 北海道コンサドーレ札幌
石川直樹



6月
元 レバンガ北海道
牧全



8月
北京五輪館メダリスト
朝原宣治



ファシリテーター
元 北海道コンサドーレ札幌
曾田雄志

11月4日（土）と12月2日（土）に秀友会アカデミアが開催されました。両日共に百数十名と大勢の方がご参加くださいました。講話もおもしろい内容で、笑いもあり、気づけば2時間があっという間に過ぎていたひとときでした。様子については、インスタグラムやフェイスブックにアップされておりますので、ぜひご覧ください。

次回は2月を予定しております。詳細が決まり次第、案内させていただきます。また皆様の大勢のご参加をお待ちしております。

学会の参加

藤原 雄介理事長が、11月23～25日に国立京都国際会館にて開催された「第39回 日本脳神経血管内治療学会学術集会」にて“頸動脈ステント留置術後に発生した遅発性白質病変の一例”について発表されました。

当院の放射線科では、最新の画像撮影技術を常に取り入れ、患者さんのニーズに応えるよう努めています。このたび、当院で導入した新しい装置や手法に関する研究を、診療放射線技師計6名が以下の学会で参加・発表をしてきました。

- 第51回日本放射線技術学会秋季学術大会(名古屋)
永田職員『頭部CT撮影におけるDeep Learningカメラを用いたオートポジショニング機能の精度検証』
及川職員『深層学習を用いた局所脳血流 SPECT検査における撮像時間短縮の検討』
名雲職員『頭部CTAにおけるマトリックスサイズが穿通枝の描出能に与える影響』
- 第43回日本核医学技術学会総会学術大会(大阪)
圓子主任『I23I-IMPを用いた非採血脳血流定量法(REICA法)の再現性についての検討』
阪井科長『脳室の影響を考慮したデジタルファントムにおける線条体SPECTの定量指標の解析法の違いによる比較』
- 日本放射線技術学会 北海道支部学術大会 第79回秋季大会(札幌)
名雲職員『Scan FOVがTrueFidelity Imageの挙動に与える影響』
- 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会(京都)
足立職員『当院における診療放射線技師の脳血管内治療介助への取り組み』

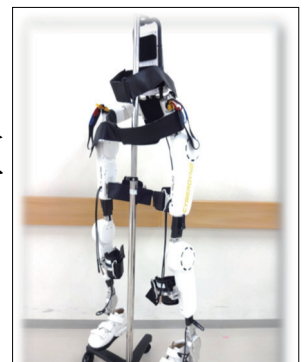
これらの学会は、地方でも開催されており、息抜きもはさみつつ、他の専門家と交流しながら、最新の技術や知見を取り入れるよう努めています。

前回、前々回の秀友便りでも当院の放射線検査機器の更新を報告していた通り、年々新しい装置や撮影技術が出ているため、それに置いて行かれぬよう日々努力しています。少しでも患者さんに還元出来るようにしていきますのでよろしくお願いいたします。



10月26日と27日に行われた“リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023”に、理学療法士の石田職員が発表を行いました。石田職員は「当院の回復期リハビリテーション病棟における多職種連携に必要なプライマリーチームリーダーの行動の特性について」という演題で発表してきました。回復期リハビリテーション病棟でのチームリーダー制について、当院と他院で共通する課題や、積極的に行っていないような取り組み、多職種に対する関わり方を意見交換してきました。

12月16日に開催された“第12回日本脳神経HAL®研究会”で、理学療法士の坂田職員と神原職員が発表を行いました。坂田職員は「HAL®自立支援用下肢タイプProによる評価機器としての臨床応用の可能性について～重度脳卒中片麻痺患者の運動課題別生体電位信号の分析より～」という演題で、神原職員は「HAL®腰タイプ自立支援用を使用した起立着座練習後の着座動作の影響について～脳卒中片麻痺患者1症例の筋活動パターン分析より～」という演題で発表しました。当院での脳卒中患者の歩行再建にHAL®を用いる中、下肢タイプの新たな介入の可能性や腰HALの使用による着座動作の影響について検討した発表をすることができました。



ロボットスーツHAL

総合相談あいふらっと



I (私・愛)・FLAT (横断的)
生命と生活を支える

総合相談あい・ふらっとでは、社会貢献活動の一貫として、地域活動をとおり、皆さんの健康づくりを応援しています。

I. 令和5年9月26日 札幌市立新陵小学校2年生

生活科学習『えがおのひみつ、たんけんたい』は、地域で暮らす人や地域で働いている人を見学し体感する授業です。



当院では退院支援看護師が担当。①院内見学では診察以外では目にすることがないMRIやリハビリテーションを、珍しそうに眺め一生懸命にメモをとっていました。②実体験では、聴診器で心臓や肺の音を初めて聞き、驚いている表情が印象的でした。③質問では「病院の職員の数」「看護師のお仕事」「薬は病院からでるのか」等、小学生とは思えない質問がありとても感心しました。後日、可愛らしい感謝のメッセージをいただき、私達は事業の参加を継続していく思いが強くなりました。

II. 令和5年10月12日 北海道札幌あすかぜ高等学校1学年

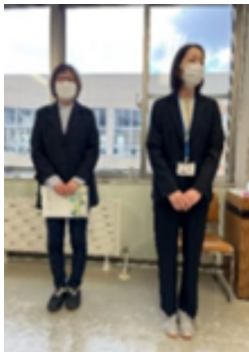
『職場1日体験』では、就労体験を通して規範的意識、勤労観を高め、卒業後の進路目標設定のために行われ、退院支援看護師が担当しました。



①看護職員と同じユニホームに着替え、病院職員の雰囲気を感じ。②看護体験では面接技術、バイタルサイン測定や手術室内を見学。手術前の手洗いは『TVドラマ』も同じ手技で監修されていることを伝え体験すると、緊張しながら手洗いしていたのが印象的でした。また、病院食では、食事形態や容器の工夫など、一人ひとりの嚥下障害の程度に合わせた内容について説明し試食をしました。1日で看護の魅力の全ては伝えきれませんでした。皆さんが個々に思う進路に向かって役立つことを願います。

III. 新発寒地区社会福祉協議会 福祉のまち推進センター

『いきいきサロン』と『予防センター新発寒・富丘・西宮の沢』の介護予防教室2か所の事業所は、長年、地域の予防事業に携わっています。



当院では数年前から杉原リハビリテーション科長が理学療法士の立場から参加。今年度より総合相談あい・ふらっとでも活動を始め、退院支援看護師と社会福祉士が協力・参加をしています。毎年の大目標はPPK【ピンピンころり】を中心に、地域住民の方々が参加したくなるような工夫を凝らしています。

①11月いきいきサロンで、健康管理の方法や予防などの講話・体験など、今後の取り組みについてお話をさせていただきました。

②12月では今年度末計画と次年度計画に参加。
③2月に健康講話とお口の健康について。3月に健康講話とタバコについての企画を予定しています。4月以降にも介護予防、健康体操・講話など企画していますので、地域の皆さんのたくさんの参加をお待ちしています。

